

令和3年度 投資事業評価調書（継続：再評価〔第4回〕）

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 勝野 真 (企画整備班主幹 森野 正之)	内線	4408 (4437)
事業種目	河川事業	水系名	円山川水系		
事業目的					
河川整備計画（平成14(2002)年10月）に基づく流下能力を確保することにより、治水安全度を向上し、地域住民の安全・安心を確保する。					
円山川水系（上流圏域）河川整備計画における「計画的に整備を進める区間」					
本川					
	区間	延長	整備目標	事業の状況	前回評価年度
①	円山川 中流工区	3.6km	平成2年9月台風19号洪水と同規模の洪水を安全に流下	事業中	H28(2016) 再評価
②	円山川 上流工区	12.9km	平成2年9月台風19号洪水と同規模の洪水を安全に流下	事業中	H28(2016) 再評価
支川					
	区間	延長	整備目標	事業の状況	前回評価年度
③	大屋川	0.85km	平成2年9月台風19号洪水と同規模の洪水を安全に流下	平成16年 (2004) 完了	—
④	八木川	0.25km	平成2年9月台風19号洪水と同規模の洪水を安全に流下	平成14年 (2002) 完了	—

【① 円山川 中流工区】

事業概要および進捗状況			今回評価内容 ( ): 前回評価時点				
工区	事業区間	整備内容		全体事業費	進捗率	残事業費	完成 予定 年度
① 円山川 [中流工区]	養父市八鹿町上小田～舞狂、 養父市養父市場～堀畑	河道改修 3.6km	事業費	26億円 ( 26億円)	73% ( 42%)	7億円 ( 15億円)	R6 (R3)
			内用補	4.6億円 ( 4.6億円)	78% ( 39%)	1.0億円 ( 2.8億円)	

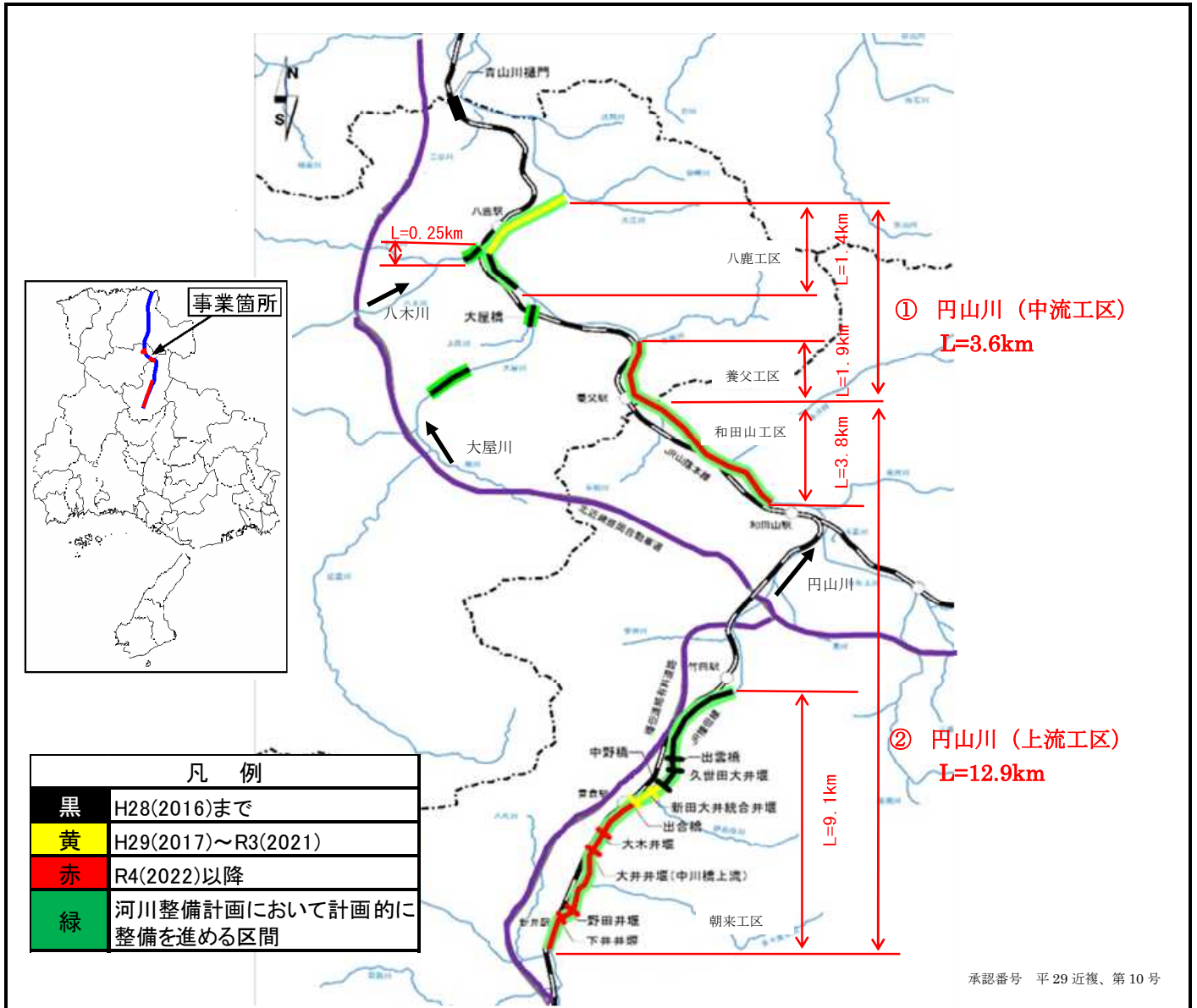
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	<p>気候変動の影響により、近年、豪雨災害が頻発化・激甚化していることから、河川改修に対する地元の要望は強まっている。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 [事業期間] ・河道掘削・築堤等について、河川内民地の処理に時間（3年）を要している。</p>						
進捗状況	・八鹿工区が令和2年度に完了。						
評価視点	評価結果の説明						
審査会意見及び対応方針 (H28年度再評価)	<p>【審査会意見】継続妥当</p> <p>円山川で生息するカワラハハコは、洪水時でも河道内に流速が遅い水域があれば残存する可カワラハハコを初めとした生物の多様な生活能性が高くなるとの研究結果もあり、礫河原や環境への影響を最小限にとどめるよう配慮す瀨・淵、みお筋等を可能な限り保全・再生し、る。生物の多様な生活環境の保全に努められたい。</p> <p>【対応方針】</p>						
(1) 必要性	<p>①当該区間では平成2(1990)年台風第19号、平成16(2004)年台風第23号、平成21(2009)年台風第9号などにより発生した洪水により、甚大な浸水被害が発生している。また、近年も、全国で記録的な降雨による災害が頻発していることから、河川改修に対する要望も強く、事業の必要性は高い。</p> <p>【近年の主な浸水被害実績】 ※流域全体の実績 近年の浸水被害実績 平成2年9月台風19号 ー 床上・床下浸水804戸 平成16年10月台風23号 ー 床上浸水160戸、床下浸水106戸 平成21年8月台風9号 ー 床上浸水109戸、床下浸水248戸</p>						
(2) 有効性 ・効率性  (事業執行環境)	<p>①費用便益比：B/C=4.9（河川整備計画の内、事業中である円山川の費用便益比） ②河川整備計画を平成14（2002）年10月に策定済。 ③河川改修を実施することにより、平成2(1990)年9月台風19号規模の洪水に対し、浸水被害を防止できる ④事業推進に対する地元の協力体制ならびに関係機関との協議・調整が進捗しており、事業執行環境が整っている。</p>						
(3) 環境適合性	<p>①井堰改築の際には、魚道を設置し、魚類の遡上に配慮する。 ②従前からあった瀨や淵、みお筋等を可能な限り保全・復元するなど、多様な生物の生活環境への影響を最小限にとどめる。 ③礫河原を保全し、礫河原固有の生物の生活環境への影響を最小限にとどめる。</p>						
(4) 優先性	残事業区間には人家連担区域や国道312号等があり、流下能力不足による浸水被害が想定されている。						
の再 結果 評価	継続	左の 理由	事業の必要性は、事業採択時と変わっておらず、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するため、事業を継続する必要がある。				

【② 円山川 上流工区】

事業概要および進捗状況			今回評価内容 ( ): 前回評価時点				
工区	事業区間	整備内容		全体事業費	進捗率	残事業費	完成予定年度
② 円山川 [上流工区]	朝来市和田山町高田～寺谷、 朝来市和田山町竹田～新井	河道改修 12.9km 橋梁架替 3橋 井堰改築 7基	事業費	72億円 ( 72億円)	54% ( 38%)	33億円 ( 45億円)	R11 (R8)
			内用補	5.5億円 ( 5.5億円)	56% ( 31%)	2.4億円 ( 3.8億円)	

事業を取り巻く社会経済情勢等の変化	<p>気候変動の影響により、近年、豪雨災害が頻発化・激甚化していることから、河川改修に対する地元の要望は強まっている。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 [事業期間] ・築堤・護岸整備について、河川内民地の処理に時間(3年)を要している。 ・出合橋架替えについて、河川内民地の処理や添架に関する関係機関協議に時間(2年)を要した。</p>						
進捗状況	<p>・平成29年度までに出合橋下流まで完了。 ・令和2年度に出合橋下部工が完了。</p>						
評価視点	評価結果の説明						
審査会意見及び対応方針(H28年度再評価)	<p>【審査会意見】継続妥当</p> <p>円山川で生息するカワラハハコは、洪水時でも河道内に流速が遅い水域があれば残存する可能性が高くなるとの研究結果もあり、礫河原や瀬・淵・みお筋等を可能な限り保全・再生し、生物の多様な生活環境の保全に努められたい。</p>			<p>【対応方針】</p> <p>瀬や淵・みお筋等を可能な限り保全復元し、カワラハハコを初めとした生物の多様な生活環境への影響を最小限にとどめるよう配慮する。</p>			
(1) 必要性	<p>①当該区間では平成2(1990)年台風第19号、平成16(2004)年台風第23号、平成21(2009)年台風第9号などにより発生した洪水により、甚大な浸水被害が発生している。また、近年も、全国で記録的な降雨による災害が頻発していることから、河川改修に対する要望も強く、事業の必要性は高い。</p> <p>【近年の主な浸水被害実績】 ※流域全体の実績 近年の浸水被害実績 平成2年9月台風19号 ー 床上・床下浸水804戸 平成16年10月台風23号 ー 床上浸水160戸、床下浸水106戸 平成21年8月台風9号 ー 床上浸水109戸、床下浸水248戸</p>						
(2) 有効性・効率性 (事業執行環境)	<p>①費用便益比：B/C=4.9(河川整備計画の内、事業中である円山川の費用便益比) ②河川整備計画を平成14(2002)年10月に策定済。 ③河川改修を実施することにより、平成2(1990)年9月台風19号規模の洪水に対し、浸水被害を防止できる ④事業推進に対する地元の協力体制ならびに関係機関との協議・調整が進捗しており、事業執行環境が整っている。</p>						
(3) 環境適合性	<p>①井堰改築の際には、魚道を設置し、魚類の遡上に配慮する。 ②従前からあった瀬や淵、みお筋等を可能な限り保全・復元するなど、多様な生物の生活環境への影響を最小限にとどめる。 ③礫河原を保全し、礫河原固有の生物の生活環境への影響を最小限にとどめる。</p>						
(4) 優先性	<p>残事業区間には人家連担区域や国道312号等があり、流下能力不足による浸水被害が想定されている。</p>						
の再評価結果	継続	左の理由	<p>事業の必要性は、事業採択時と変わっておらず、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するため、事業を継続する必要がある。</p>				

円山川水系円山川上流圏域 整備概要図

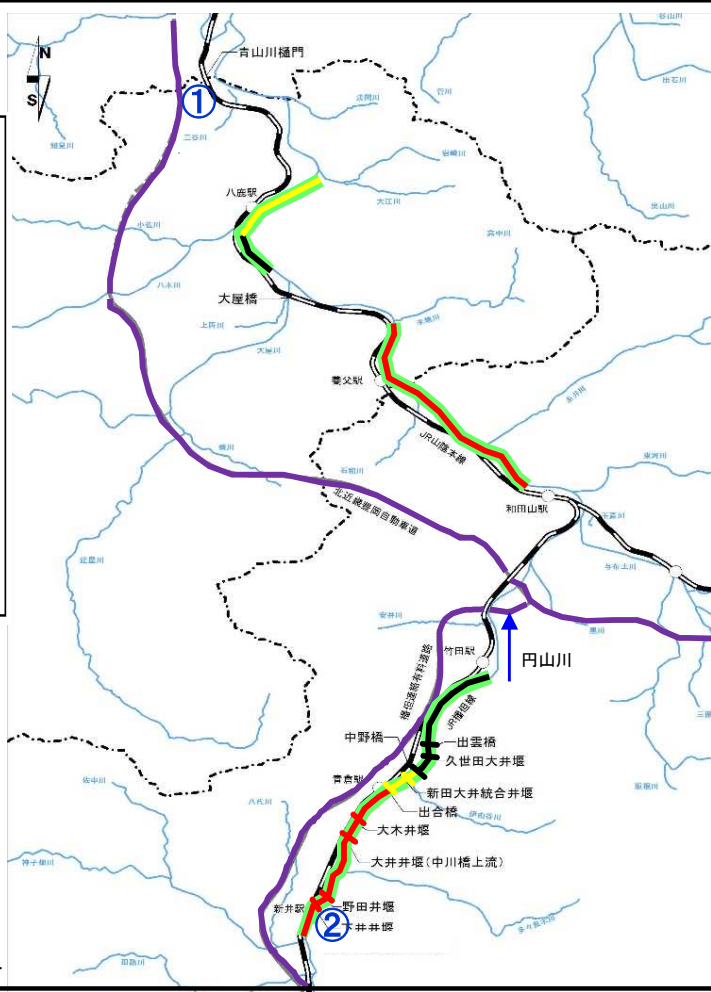
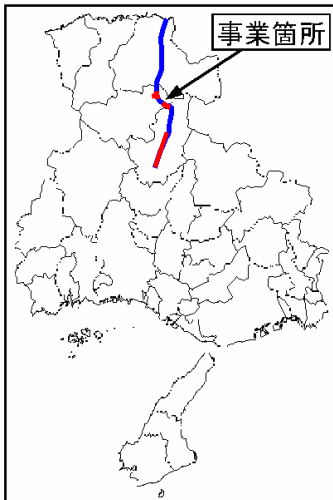


承認番号 平 29 近複、第 10 号

工区	河川整備計画全体	前回評価まで	前回評価から R3(2021) まで	今後 5 年間 R4(2022) ~ R8(2026)	今後 6~10 年間 R9(2027) ~ R13(2031)
① 円山川 [中流工区]	【H14~R6 年度】 【事業費=26 億円】 ・整備延長：3.6km ・整備概要：掘削、護岸、樹木伐採、樋門 1 門	H14~H28 年度 【事業費=11 億円】 ・八木川を含む約 1.4km 区間で、堤防、護岸整備が完了 ・青山川樋門が完了	H29~R3 年度 【事業費=8 億円】 ・八木川合流点約 0.3km の改修が完了	R3~R6 年度 【事業費=7 億円】 ・養父地区の掘削、築堤等	
		青山川流域の背水被害を軽減	流下能力の向上	流下能力の向上	
② 円山川 [上流工区]	H14~R11 年度 【事業費=72 億円】 ・整備延長：12.9 km ・整備概要：掘削、築堤、護岸、橋梁3橋、井堰7基	H14~H28 年度 【事業費=27 億円】 ・出雲橋、中野橋の架替が完了 ・久世田井堰、新田・大井統合井堰の改修が完了	H29~R3 年度 【事業費=12 億円】 ・出合橋が完了	R4~R8 年度 【事業費=21 億円】 ・大木井堰、大井井堰の改築 ・和田山地区における掘削、築堤等	R9~R11 年度 【事業費=12 億円】 ・野田井堰、下井堰の改築 ・朝来地区における掘削、護岸
		流下能力の向上	流下能力の向上	流下能力の向上	流下能力の向上

# 河川事業 一級河川円山川水系上流圏域 (継続:再評価〔第4回〕)

## 位置図



## 目的

河川整備計画(H14.10)に基づく治水安全度の向上  
平成2年9月台風19号洪水と同程度の洪水を安全に流下させる

## 事業概要

事業区間：養父市八鹿町上小田～朝来市新井  
 総事業費：98億円  
 うち用地補償費：10億円  
 事業期間：平成14(2002)年～令和11(2029)年  
 事業概要：河道改修、橋梁架替3橋、井堰改築 7基  
 延長：16,500m  
 費用便益比B/C：4.9  
 (河川整備計画の内、事業中である円山川の費用便益比)

## 浸水実績

### 浸水実績(平成2年台風第19号)

#### ① 三谷川(円山川合流点付近)



### 浸水実績(平成21年台風第9号)

#### ② 円山川 朝来市新井(国道312号)

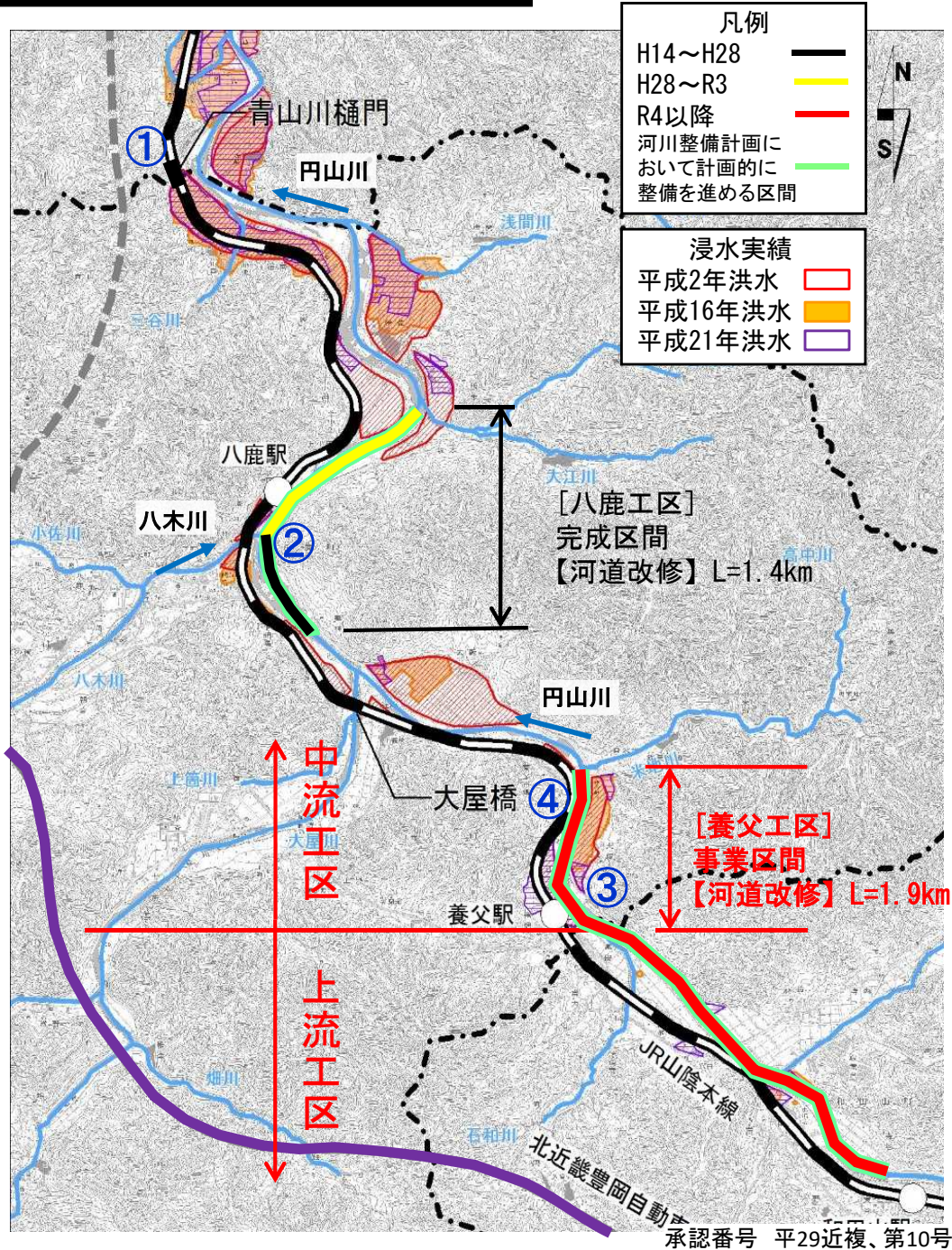


## 横断図





# 事業進捗平面図(中流工区)



# 現況写真

①完成区間(青山川樋門)

樋門の整備

②完成区間(八木川合流点)

護岸の整備



③事業区間(養父市堀畑)

河床掘削



④残事業区間(米地橋上流側)

築堤・掘削



# 工程表

■ : 前回計画  
■ : 実施・計画

	種別	H28まで	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
		設計						■ 養父		
中流工区	用地交渉等	■	■	■	■					
		八鹿			養父					
掘削	■		■	■	■	■				
	八鹿、養父				養父					
築堤・護岸	■	■	■	■	■					
	八鹿				養父					







